



愛郷無限

土屋館
どやだて
通信

発行者：大曲・花火通り商店街
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2013年11月12日号 NO.427

写真提供：大山市

Subject： B-1 グランプリ in 豊川 大成功&大盛況

11月9～10日の二日間にわたり愛知県豊川市で開催された、B-1 グランプリ in 豊川に「大曲の納豆汁」旨めもの研究会として出展してきました。

集客・運営・人員、どの面から見ても本当に素晴らしい大会でした。官民が協働した実行委員会、地域の商業者、住民はもとより、一般から募集したボランティアは何と数千人規模！ スタッフTシャツを着た一般ボランティアは会場だけでなく、街中のあちらこちらに配置され、細やかな配慮と声かけをしていました。

来場者数ももの凄く、公式発表58万人ながら、豊川駅のみならず、隣市の豊橋駅まで人で溢れかえっている状況で、もっと来ていた実感があります。

人口16万人の豊川市ですが、厳しい経済状況の中で、街を何とか元気にしたいという市民の想いがそこかしこに見られました。私たちがユニフォーム姿で道路を歩いていると、商店主や通行人が「B-1に出展されている方ですか？ 豊川に良く来てくれました。頑張ってくださいね」と声をかけてくれる。それも一人二人じゃありません。もの凄く数の住民の皆さんがお声かけくださる。街を挙げてのおもてなしというのはこういう事だよねと痛感。食による街おこしを推進する団体の集まり「愛Bリーグ」、出展した64団体の取り組みやパフォーマンス、もてなしの心も本当に素晴らしいものでした。愛郷心と行動力に於いて全国トップレベルの彼らと軒を並べてご当地PRすることは、私たちスタッフにとって最良の刺激と学びの場でもあります。p

今回、大曲納豆汁旨め研は、若い人達を中心に、アドバイザーとして商店街メンバーも含んでプロジェクトチームを結成しました。数ヶ月前から、時間をかけて、手間をかけて準備してきた飾り付けや展示物、そしてパフォーマンス。しかも、ただ単に見栄え良く、格好良いものを目指すのではなく、「我が街の売りは何だろう？」、「どの様なものが来場者にとって本当に魅力的なものだろう」と、とかくになりがちな独りよがりや、花火一辺倒になることなく、大曲の歴史や市民性など、原点に立ち返って議論を重ねてきました。微笑みシスターズのお母さん達も練習の段階から参加。本当にありがたいです。その成果あって、ブースまでは本当に素晴らしいPRパフォーマンスをしてくれたと思います。ステージ上でも他団体から大曲さんは凄いやねと言われる程でした。

群雄割拠の愛Bリーグ、残念ながら10位入賞は出来ませんでした。しかし大曲の魅力を全国に発信すること、「食」のまちづくりの意味の一つである「人」づくりをすることは着実に成果を上げていると実感できた大会でした。

勿論、大曲納豆汁も大好評でした。提供食数は昨年の北九州大会を遙かに超え、認知度が確実に上がっていることを実感。

来年のB-1 グランプリは福島県郡山市で開催されることが決定しました。今日からまた364日の日々のまちづくり活動の積み上げが始まります。来年のB-1 郡山でこれからの一年間の成果を堂々とお披露目できるように日々の活動を頑張ってお参ります。